



福祉で活躍するさまざまな資格

現在、障害分野の国家資格には、社会福祉士、精神保健福祉士、言語聴覚士、公認心理師、介護福祉士などがあります。すずらんの会でも職員のスキルアップを応援しています。今回は、働きながらスキルアップのために社会福祉士の資格を取得した職員に話を聞きました。

ワークショップ・フレンド 大石 康平 (2013年入職)
主に作業支援、生活支援に携わっている。
サービス管理責任者。

<取得理由、きっかけ>

事業所内で通信制大学の資格取得の案内が回覧され、1年間業務に携われれば別事業所の実習が免除になる、web上でレポート提出が出来る、スクーリングも土日祝日実施といった旨の内容で、無理なく取り組めるかもしれないと思いました。法人内で資格取得者への手当もあり、取っておいて損はないと思った事、また自身の日常的な業務における以外のスキルアップの場を求めている事から、通信制大学の入学に至りました。

<取得に向けた取り組みについて>

毎月2本程度のレポートが約2年続く事は、想像よりも大変でした。ただ、学生時代に行った、自己学習をした後にレポートを作成するといった流れは覚えており、取り組む事が出来ました。また、知らない事を学ぶ楽しさや、レポートをまとめていく達成感、日々の業務で感じられる以外の喜びでもありました。スクーリングでは、自分よりも先輩の福祉職の方々とケース検討をする時間があり、多くの視点や見識を得るといった点で、良い経験となりました。

<取得した事で携われた業務内容>

資格取得後に、社会福祉士実習指導者講習を受け指導者となった事で、社会福祉士の取得を目指す学生の実習指導を行っています。日々の計画立てや進捗状況の把握、振り返り等多くの業務が加わる事は、正直楽な事ではありませんでしたが、職員とは違う視点で物事を捉えた率直な意見等は、単純に新鮮さを感じ、新たな気付きを思い起こされる等、学生とのディスカッション自体に面白みも多く感じました。

<取得後変わったこと>

取得に向けた学びから、自分が行ってきた支援を振り返り、考えを深めることができました。資格を取得し自分の支援の根拠となる知識を得られたことは、自分の今後の支援業務を行っていく上での支えになり、自信につながったと感じています。また、目標を立てて取り組み、資格取得という結果が伴った事は、経験を重ねる事で達成出来ていく事が必ずあると実感することができました。

すずらんの会では、職員の知識や経験の積み重ねを更なる利用者支援に活かせるよう、規程で「資格手当」を定めています。現在は、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・訪問介護員(1級)・保育士・臨床心理士・公認心理師・言語聴覚士・作業療法士・看護師・簿記(3級以上)の資格取得者に対して、資格数に応じた手当を支給しています。今回話を聞き、より多くの職員が資格取得のための学びを通して、知識を深め新たな気づきを得る機会を得てほしいと改めて感じました。(編集:広報委員会)

～お知らせ～

毎年10月に開催しておりました「フェスタすずらん」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に、中止となりました。2年続けての中止となり大変残念ですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

今号も法人の人材育成の取り組みについて取材しました。職員として勤務年数を重ねていく中でしみじみ思うことは、成長していくには何より経験が大事だということです。経験を積み重ねていく時に支えてくれた先輩職員方には今でも感謝の気持ちを持っています。後輩も増えて、私も後輩職員の成長を支える存在になればと思っています。次号も人材育成について特集していきます。(広報委員会)

ご厚意に感謝申し上げます

焼き菓子製造販売すずらんの家に、近隣の方から飲み物の差し入れをいただきました。

こちらに掲載させていただいた方々の他にも、年間を通して多くの方からご支援を頂戴しております。(地域活動への招待、授産作業のご紹介、設備品・玩具・本の寄贈など)福祉事業に対する温かいご理解を賜り、ご厚意に深く感謝申し上げます。

広報 すずらん

発行日: 2021年10月1日 (平成8年創刊)

発行元: 社会福祉法人すずらんの会 理事長 松屋 直人 URL: <http://www.suzuran.or.jp>

所在地: 〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台7-6-4 TEL: 042-745-8080

編集: 広報委員会

2021年
10月発行
第81号

自分たちの住む街をきれいに! 「クリーンウォーク」開催

毎年イベント委員会が地域交流を目的として実施してきた「サロンコンサート」や「フェスタすずらん」などの企画は、コロナ禍の影響を受け中止となっています。今年度はイベント委員会の新たな取り組みとして、地域ごとに開催日を分けて街をきれいにする活動、クリーンウォークを開催しています。富田委員長に活動開催に至った経緯などを聞きました。

Q: クリーンウォーク開催に至った経緯は?

A: コロナ禍でこれまで行ってきた集客を伴うイベントの開催が難しくなり、その中で法人として地域交流をどのように行っていけばよいかと検討を重ねてきました。また外出制限などが長引き、利用者の皆さんの楽しみも少なくなってしまい、心身の健康も心配される場所であったため、健康増進も兼ねてできる活動の形を検討し、クリーンウォーク開催に至りました。

Q: 開催にするにあたって気を付けた点は?

A: まだコロナの感染状況が落ち着いていないので、屋外の活動ではありますが、密を避けるように心がけています。時期によっては、当初の計画より距離を短めに設定したり、車を利用したりして、利用者の皆さんの負担を軽減できるような活動にしています。

Q: 今後に向けた活動の展望は?

A: 毎回、活動内容の振り返りをして、今後に向けた改善を行っています。これからも試行錯誤しながら、よりよい活動につなげていきたいです。

クリーンウォーク開催日程
2021年 5月 (相模原市: 相模原公園周辺)
6月 (大和市: 泉の森周辺・他)
7月 (相模原市: 溝上地区・他)
10月 (相模原市: 横山公園周辺・他)
2022年 1月 (相模原市: 麻溝公園周辺)



(暑さに負けず取り組む様子)

実際に参加された方からもお話を伺いました。

大和市障害者自立支援センター利用者 F さん

Q: 参加されてみて、感想はいかがでしたか?

A: ゴール地点の泉の森は起伏があって、思ったより大変だったけど、楽しく参加できました。

Q: どのくらいごみは拾えましたか?

A: 思ったほど多くなくて、袋にもそんなに入らなかったですけど、たばこの吸い殻が多く落ちていました。

Q: またこのような機会があれば参加したいですか?

A: 結構いい運動になったので、参加してみたいです。普段こんな長い距離を歩くことがないので、今回参加して歩くことができて自信にもなりました。



(拾ったごみは袋にまとめました)

このように、楽しんでいただけた声を伺うことができました。初めての取り組みとしては、有意義なものになったのではないかと思います。今後も利用者の皆さんへの余暇支援や地域交流を目的に、また、コロナ禍でも安全に開催できるイベントを法人全体としても検討してまいります。

(編集: 広報委員会)

イベント委員会



委員長 富田 康義 (2008年入職)
 これまで、3か所(ワークショップ・フレンド、SUN 横山、SUN)の事業所で作業支援や就労支援に携わっている。
 サービス管理責任者。

特集 人材育成 (中堅職員育成)

今号では、中堅職員の育成にスポットを当ててご紹介します。法人では今年度から支援サービス委員会の委員長を中堅職員に任せる取り組みを始めました。委員長経験者をオブザーバーとして配置、委員長をサポートする体制を作っています。実際に奮闘している職員2名を紹介します。

余暇支援委員会



委員長 杉本 加津美 (2012年入職)
 あいあいSにて、高齢者への訪問介護、障害者への移動支援等に携わっている。
 管理者。ケアマネージャー。

イベント委員会

Q: 委員長に任命された時の気持ちは?

A: 過去にイベント委員会に所属していたことはありましたが、少し期間が空いていたので、委員長職を担えるかどうか不安のほうが正直強かったです。

Q: 実際に取り組んでみての感想は?

A: 委員会には前年度委員長がオブザーバーとしていてくださっているので、活動をすすめていく中で困ったことがあればすぐに相談をすることができるので、心強く思っています。イベントを開催していく中で疑問が浮かんだ時には細かいことでも質問するようにしています。都度確認すると返信をくださるので、安心感につながっています。

Q: 具体的に質問した疑問は?

A: 初めてのことであったため、委員長として裁量がどこまであるか迷うことがありました。前年度委員長や統括に相談し「委員長自身で考えて、意見を発信してもよい。」と言われ、自分がやるべき業務がわかり、気持ちが楽になりました。



(イベント: クリーンウォークの様子)

Q: 委員長職に取り組むことで新たな気づきは?

A: イベント委員としてイベント開催業務に取り組む経験はありましたが、改めて委員長として開催準備業務に取り組むと知らなかった業務が細かくあるということに気づきました。委員長になることでイベント委員会としての業務全体が見えるようになりました。

Q: 今後委員長として取り組みたいことや目標は?

A: 委員長として自分が業務に取り組むだけでなく、委員に業務を任せることで委員の育成にも取り組むように言われています。委員長業務を通して、物事を整理し、わかりやすい伝え方を工夫するなど、自分のスキルも向上させることができ、尚且つ委員の育成に貢献できたらよいと思っています。



(イベント: クリーンウォークゴール地点の様子)

【サークル活動の再開について】 (2021年8月末現在、活動は再度自粛になっています)

2020年4月に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、法人としては土曜日に開催されていた全てのサークル活動を中止とし、その期間が約1年間続きました。今年4月からは、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行いながら、参加人数の制限にも協力いただき、右図のように徐々にサークル活動が再開しています。参加した利用者からは「久しぶりで、本当に本当に楽しかった」「ボウリングではハイタッチができないルールになったので、エアタッチをした」と、参加を喜ぶ声が上がっていました。残念ながら取りやめになったサークルもありますので、今後は新たなサークルを検討予定です。



(余暇: サウンドタイム練習の様子)

余暇支援委員会

Q: 委員長に任命された時の気持ちは?

A: 今までにも余暇活動委員会に所属したことはありますが、活動は部分的でした。委員長としては、すべての活動を把握しなければならず、週末はあいあいSの活動もあり、正直不安に感じました。しかし、補佐役として前委員長が同じ委員会に所属しているので、とても心強かったです。

Q: 実際に取り組んでみての感想は?

A: 利用者の余暇の充実を支援するという点では、あいあいSでの通常業務とかけ離れておらず、やりがいを感じました。

Q: 委員長職に取り組むことで新たな気づきは?

A: 毎月、利用者が安全に楽しくサークル活動を行うためには、それに伴う細かな業務が多く必要なこと、また、各委員それぞれが賢明に役割を果たしていることに気づきました。

Q: 今後委員長として取り組みたいことや目標は?

A: 余暇活動については、これまで法人内の一事業所「グリーンハウス」が事務局を担ってきた経緯があり、調整や受付、当日の窓口まできめ細かく担当していました。また、余暇活動委員長もグリーンハウスの職員が担当してきました。今年度から、自分が委員長として活動する事になり、事務局との書類の受け渡しや確認等に時間が必要になっています。やり取りがよりスムーズになることが、今後の課題だと思います。

<まとめ>

2名の委員長から話を聞き、最初はおふたりとも不安に感じているようでしたが、委員長経験者が身近にいることで、安心して業務に取り組んでいるようです。このようなサポート体制の中、中堅職員に委員長職を任せていくことで、職員自身も自分の中にある新たな可能性を発見できていると思われます。今後も、すずらんの会では一人ひとりの職員に合わせた人材育成に取り組んでいきます。

(編集: 広報委員会)

■現在の余暇サークル活動状況

・ボウリング	参加希望者(毎月約60名)を奇数月と偶数月に分け、1回につき24名を超えないように活動。1レーンにつき2名ずつで使用。
・サウンドタイム	以前より広い健康文化センターに場所を変更して活動。新しい楽器も購入。
・ティーボール	11月から再開予定。
・ダンス	会場の窓を全開にして活動。
・ゴルフ	ソーシャルディスタンスを守って活動。
・書道 ・華道 ・美術	机の間隔を空けて活動。

